

質問	和同開珎、寛永通宝等、貨幣の中央に四角の穴があいているのはどのような理由からでしょうか。
回答	四角の穴の貨幣を方孔錢といい、2つの説が見つかった。 ①四角の穴に四角の棒を通して形を整えるため。(丸い穴だと回転してしまうので) ②古代中国の思想に「天は円、地は方形」を表すという考え方があり、円形の貨幣に四角の穴を開けた。(晋の魯褒が書いた「銭神論」の説) この「銭神論」の本文は見つからなかったが、複数の著書で同じ内容が紹介されていた。 もともとは中国の思想を背景として②の理由により四角の穴の貨幣を造ったが、実用的な便利さから①の理由も根拠と考えられるようになったらしい。
回答のプロセス	日本の貨幣に四角の穴がつけられたのは富本銭、和同開珎のときから中国の模倣だったので、古代中国の貨幣について調べる。①の理由しか載せていない本と、両方を併記した本があった。両方を併記した本の著者は②の説を本来的なものとしている。
資料	山田勝芳「貨幣の中国古代史」(337ヤカ) 三上隆三「貨幣の誕生」(337ミリ) 「中国歴史文化事典」(R222チュ) 大蔵省印刷局／大蔵省造幣局「貨幣なぜなに質問箱」(337カヘ) 「学研まんがお金100のひみつ」(K337オカ)
備考	